

膝が痛い、膝に違和感がある場合は

変形性膝関節症かも？！

症状の現れ方

初期には膝のこわばり感や、歩き始め、階段の昇降、長時間の歩行、立ち仕事のあとなどに痛みが起こります。初期でも炎症が強い時期には関節内に関節液がたまり、関節がはれて膝を曲げたときに強い痛みを伴うことがあります。

変形が進行するにつれて動きが制限され、正座や膝を完全に伸ばすことができなくなり、痛みや歩行障害も加わって徐々に日常生活が制限されてきます。また、O脚やX脚といった変形が進行することがあります。

膝の半月板損傷を生じたり、関節内遊離体（関節ねずみ）や膝の後ろにベーカー嚢腫（袋状の腫瘤）を合併したりすることがあります。

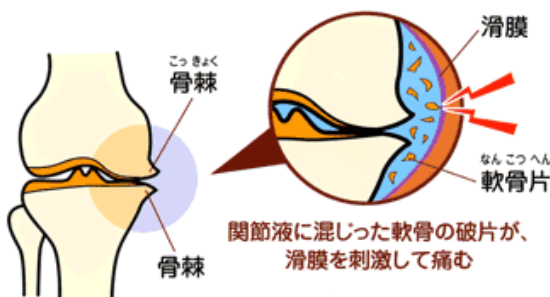
初期

軟骨がすり減り、関節のすきまがせまくなる



中期

さらに軟骨がすり減り、関節の縁から骨棘がでる



さらに、軟骨がすり減ると

進行期

軟骨がなくなり骨が直接ぶつかるため、激しい痛みを引き起こす



症状に気づいたら

長引く膝の痛みやはれ、O脚やX脚変形、正座ができないなどの症状があれば変形性関節症の可能性もあるため、整形外科の受診をすすめます。

整形外科・リウマチ科医師が担当します
リハビリチームがサポートします

診療をご希望の方など、詳しくは**1階医事課受付**にお尋ねください